

## まあ、お前こそ猫みたい

二月二十七日 木曜日      まあ、お前こそ猫みたい

目覚め、午前一時！

しばらく、ぼんやり天井を眺め、  
あたりがはっきりして来たので、勉強。

寒いので、もちろん、床の中で。

古文の予習、英語作文の宿題を済まし、  
英文解釈に取りかかるともう二時半。  
終われば三時過ぎ。

英語単語の復習を三十分程していると、  
コックリしだす。

別に、切羽詰まっていないので、  
そのまま寝てしまう。

起床六時三十分。

実のところ、柱時計が十分ほど進んでいて、  
本当は二十五分。

七時六分頃 家を出て、白い息をはきながら、  
観月橋へゆっくり歩いて行った、  
のにもかかわらず、  
五分の各停に間に合い、意外である。  
まあ、仕方がない。